

機関誌「私たちの自然」

野鳥を守っていくためには鳥だけではなく自然全体を守っていく必要があります。そんな思いを込めて機関誌のタイトルにしています。自然に関する記事や当連盟の活動などを掲載しています。各月年6回発行しています。



普及啓発のための野鳥関連グッズ

商品の売り上げは全て当連盟の公益活動のために使われます。



- 音声再生・録音ペン G-Speak
野鳥シートに連動して野鳥のさえずりや鳴く虫、カエルなどの鳴き声や解説を聴くことができます。
- 野鳥シート 全4種類
身近な野鳥・水辺の野鳥・身近に鳴く虫／カエル・鳥から知る環境もさし



- 日本の野鳥カレンダー（左）
生き生きとした野鳥の姿と季節感ある写真が満載です。
- バードピンズ 全20種（上）
野鳥のかわいいイラストピンバッジ



- エサ台／巣箱など
色々なタイプのエサ台や当連盟で監修している餌、国産間伐材で作ったシジュウカラやスズメが使う大きさの巣箱などを取り扱っています。

日本鳥類保護連盟の支部

当連盟には全国に14の支部があります。観察会などの活動も行っていますので、支部の活動にご興味がある方はページ下の連絡先にお問い合わせください。

支部一覧

釧路	岩手	宮城	千葉	茨城	神奈川	山梨	富山
石川	福井	京都	岡山	広島	山口		

入会のご案内

日本鳥類保護連盟ではサポーター（会員）になっていただける方を募集しています！特別な資格は必要ありません。野鳥が好き！自然を守りたい、大切にしたい！という気持ちを、ぜひ私たちに伝えさせてください。皆様のご入会をお待ちしています。

会員の種類と会費

会員には種類があります。入会金は必要ありません。

- 個人正会員（一般の方）・・・5,000円
- 家族会員（個人正会員／特別支援会員のご家族で同一生計の方が対象）・・・1,000円
- 学生会員（学生・生徒）・・・3,000円
- 特別支援会員（より一層ご支援いただける方）・・・一口10,000円
- 法人会員（企業・団体向け）・・・一口20,000円

口数によってサービス内容が異なります。詳しくはウェブサイトをご確認ください。オンラインでの支払いもできます。

入会特典

1. 機関誌「私たちの自然」を年6回お送りします。
2. 会員証、会員バッジ、野鳥シートをお送りします。
3. 商品には一部を除いて会員価格があります。
4. 野鳥に関わる環境保全活動のご相談をお受けします。（法人会員様）
5. 広告掲載ご希望の方には、会員価格で承ります。
6. 会員専用ページの閲覧（過去の機関誌の閲覧など）

3,000円を超える会費、ご寄付は税額控除の対象となります

会費・寄付金は下記の送付先までお願いいたします

銀行振込：三菱東京UFJ銀行 渋谷中央支店 普通預金0113708
 郵便振替：口座 00150-9-19214
 加入者名：公益財団法人日本鳥類保護連盟
 現金書留：連盟事務所まで

※銀行振込の場合は、事前にご連絡のうえご送金をお願いいたします。

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

〒166-0012 東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3F
 TEL: 03-5378-5691 FAX: 03-5378-5693
<https://www.jspb.org/> Email: webmaster@jspb.org



鳥とともにある社会を

公益財団法人

日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation Birds



日本鳥類保護連盟（JSPB）とは

鳥類をはじめとする野生生物保護に関する知識などを普及啓発するとともに、その保護を推進し、自然環境及び生物多様性の保全、人と野生生物が共存・共生する社会の構築に寄与することを目的としています。

沿革

- 昭和22年3月、日本における鳥類保護の実績と普及啓発を推進するため、鳥類学者を中心として、文部省（現文部科学省）、農林省（現農林水産省）、鳥学会、研究機関、団体などが一堂に会して「日本鳥類保護連盟」を結成しました。
- 昭和32年に農林省認可の財団法人となりました。
- 昭和37年に常陸宮殿下が連盟総裁としてご就任されました。
- 昭和46年に環境庁認可の財団法人となりました。
- 平成24年に内閣総理大臣の移行認定通知を受け、「公益財団法人 日本鳥類保護連盟」となりました。

ご寄付のお願い

私たちの活動は皆様からのご寄付によって支えられています。今ある自然をより良い形で未来に届けるために、活動にご支援ください。よろしく願いいたします。

ご寄付の種類

- 愛鳥募金
日本鳥類保護連盟の活動全般に使用させていただきます。日本鳥類保護連盟が行っている活動の中から特定の活動を指定してご寄付いただくこともできます。

●遺贈寄付

遺贈寄附とは、個人が遺言によって遺産の全部、または一部を個人や団体に寄附することです。

土地や建物などの遺産も含め遺贈寄附の対象とすることができますので、鳥たちが安心して暮らせる、人間と共存、共生できる明るい未来のためにご検討いただければ幸いです。

ご寄付のお問い合わせや振り込み先については裏面をご覧ください。



■ 愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」



愛鳥週間の中心行事として、当連盟の総裁である常陸宮殿下及び妃両殿下ご臨席のもと、環境省との共催で開催しています。野生生物保護功労者表彰などの行事を行い、野鳥保護の大切さを広く全国に発信しています。

■ 愛鳥週間用ポスター原画コンクール

愛鳥週間用ポスターの製作、配布を行っています。野鳥の絵の創作過程を通じて愛鳥思想が高まることを期待し、愛鳥週間用ポスターに使用する絵は全国の小・中・高等学校から募集しています。総裁賞に選ばれた作品がポスターに採用され、全国の地方自治体や教育機関などに配布されます。



■ 全国野生生物保護活動発表大会



環境学習を推進し、将来の自然保護を担う子供たちを育てていくため、環境省共催、文部科学省、林野庁後援のもと、全国の小・中・高等学校の児童・生徒が行っている野生生物保護活動を表彰し、環境省で発表してもらう活動を行っています。

■ 「ヒナを拾わないで!!」キャンペーン



巣立った直後のヒナが誤って保護されてしまう事例が多いことを受け、正しい知識と対処の方法を広く伝えることを目的に、日本野鳥の会、野生動物救護獣医師協会と連携してポスターを制作性、全国に配布しています。

■ 釣り糸（テグス）拾い活動



水辺に放置された釣り糸（テグス）に野鳥が絡まって死んだり、傷ついたりするケースが多発しています。現状を伝える活動とともに、全国でテグス拾いが行われるよう呼びかけています。

■ バードピアづくりの推進

バードピアとは野鳥（バード）と楽園（ユートピア）を掛け合わせた言葉です。都市部の限られた緑地環境で野鳥たちが安心して暮せるよう、私達の身の周りにある庭やバルコニーなどの空間を、野鳥たちにも提供してもらえるよう技術的情報の発信とともに登録を呼び掛けています。



■ 野鳥の巣箱架け事業

巣箱架けを通して愛鳥思想を普及・啓発するため、幼稚園・保育園・学校・企業などを対象に巣箱作りと巣箱架けによる愛鳥活動プログラムを提供しています。また、フクロウ用の巣箱を架設して調査を行い、フクロウの保護にも貢献しています。



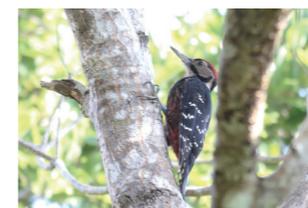
■ シマフクロウの保護活動



国内に100つがい程度しかいないシマフクロウの保護のため、巣箱架けや当連盟が所有または管理する給餌場への魚の給餌、ヒナの個体識別、現状を伝えるための啓発活動などを行っています。

■ 奄美群島の固有希少鳥類の保全

世界自然遺産に登録されている奄美大島等において、アマミヤマシギやオーストンオオアカゲラなど、固有希少鳥類を保全していくために必要な調査研究を行っています。



■ コアジサシ保全のための研究



当連盟の中にコアジサシ研究センターを設置し、国内外のコアジサシの渡りに関する調査・研究や、海外とのネットワークの構築、国際鳥類学会議などを通じた情報の発信を行っています。

■ 外来種の調査・研究

生息域が拡大しつつあるワカケホンセイインコ等について、現状を把握し、在来種への影響や農業被害が起こらないようモニタリングを続けているほか、問題が起きないようにするための対策を考え発信しています。



■ サシバの保全のための活動



絶滅危惧種であるタカの仲間、サシバの現状や生態を把握するため、奄美大島における越冬数調査への参画や、渡りルート解明のためのGPSタグによる調査を、サシバに関わる国内の主要団体と共同で行っています。

■ 国際サシバサミット

サシバの保全のために国内の主要な鳥の保護団体や国際間でのネットワーク構築を目指した国際サシバサミットに参画し、運営やサシバの調査研究で得られた情報の共有等に取り組んでいます。



■ フィリピンにおける国際協力事業



フィリピンにおいて、渡りをする猛禽類のサシバやアカハラダカの個体数調査を通じ、子供たちへの環境教育や教材の製作を行っているほか、サシバの密猟対策やこれらのタカ類がエネルギー補給できる森を目指した森林再生事業などを行っています。また、子供たちが観察に参加しやすいよう、現地でご子供たちに寄贈する中古双眼鏡を国内で募集しています。

